



細島灯台調査検証事業

実施団体名：
細島灯台灯りの輪

対象灯台：
細島灯台（宮崎県日向市）

調査検証の目標～明らかにしたい仮説

細島灯台を観光資源として活用することで、日向岬への観光客数を増加させることができる。

調査検証報告

細島灯台

(宮崎県日向市)

細島灯台調査検証事業

実施団体名 細島灯台灯りの輪

連携団体など 日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」、
宮崎県立富島高等学校、日向市史談会

1.調査・検証概要

調査検証を構想した背景

◎細島灯台は、国の天然記念物「日向岬の柱状節理」そばに建ち、国の登録有形文化財にも登録されているのにも関わらず、地域資源としてうまく利活用できていない（地域学の題材や、観光ボランティアガイドの観光案内に組み込まれていない）。車で約1時間の距離にある天然記念物「高千穂峡」のほうが観光客でにぎわっている。

◎日向市は人口減少・少子高齢化が進行している。灯台を軸とする日向市ならではの新たな話題づくりにより、まちに活気を取り戻したい。

◎日向市は日帰り観光が主である。灯台を含めることで朝や夜の魅力的な観光体験を開発し、宿泊者数を増やし、観光消費額を伸ばしたい。



2.調査検証の目標～明らかにしたい仮説

細島灯台を観光資源として活用することで、日向岬への観光客数を増加させることができる。

※今年度は調査や実証実験により、細島灯台の価値の言語化やツール作成、ガイド育成、コンテンツ開発に取り組む。

survey 01

専門ガイドの育成

細島灯台ガイドマニュアルの作成と、専門ガイドの育成、ガイドツアー試験実施、アンケート調査

survey 02

地元を学ぶ！灯台塾

高校生向け灯台研修会、活用に関する意見交換会の開催、アンケート調査将来の担い手として、市内の高校1年生を対象に実施。来年度以降も継続、発展するよう進めていく。

survey 03

灯台クルーズ

灯台クルーズの企画開発、実施、アンケート調査。
飛島丸（瀬渡船）、漁協と連携し灯台の歴史・地理を知るコンテンツ開発をする。

survey 04

灯台ナイトハイク

灯台ナイトハイクの企画開発、実施、アンケート調査

survey 05

灯台 with 日の出

灯台with日の出撮影会の企画開発、実施、アンケート調査

survey 06

アンケート分析

各調査事業でのアンケートによる分析

survey 07

関係者で次年度移行の取組に向けての協議

更なる利活用への協議実施。灯台へ訪れる機会（イベント開催）の必要性

survey 08

灯台周辺景観修景活動

灯台周辺の樹木を除去するなど、景観を取り戻し眺望を確保する修景活動





細島灯台のストーリー (一般向け紹介文)を作成

細島灯台の高さや光達距離などの基礎データ、設置経緯、関係者インタビューなどを通じて、「細島灯台のストーリー（一般向け紹介文）」を作成。
※次ページに掲載 ※基礎データ等は21ページ以降。



専門ガイド育成

制作した「細島灯台ガイドマニュアル」を使った細島灯台ガイドツアーを実施。専門ガイドによる案内で細島灯台の歴史・文化を学びながら、細島灯台周辺を散策するツアー。灯台にまつわるクイズなどを交え、楽しく学べるツアーを目指した。



地元を学ぶ！灯台塾

地元・富島高校の生徒を対象に、細島灯台を学ぶ研修会を計5回実施。現地視察のほか、宮崎海上保安部などを講師に、細島灯台の特徴や歴史・文化等を学び、今後の灯台利活用についての意見を交わした。また、ガイドマニュアルのイラスト製作や灯台クイズの企画などにも参画。



灯台クルーズ

遊覧船「飛鳥丸」を利用し、細島灯台の正面である日向灘海から灯台を眺める。灯台の役割、歴史のほか、日豊海岸国定公園の特徴ある海岸線を体験。



灯台ナイトハイク

灯台の麓の「馬ヶ背茶屋」を始点に、日向岬突端の展望台から海を照らす灯台の灯りを鑑賞後、ゴールの「細島灯台」で、間近で灯りを見るコースを設定。ふだん見ることがない幻想的な灯台の灯りを体験。



灯台with日の出

「細島灯台」×「日の出」の魅力を検証。プロカメラマンなどが、早朝の細島灯台を被写体に、太平洋から昇る日の出とともに写真撮影するイベント。撮影された写真はweb上に公開しアンケートを実施。

細島灯台のストーリー

海上交通の要衝を守る灯台の役割や機能を学べ、
建築美、自然との調和を体感…ビギナーにおすすめの灯台

細島灯台は、古くは宋や明との貿易の寄港地として栄え、
現在も東九州の物流拠点である細島港の入口、日向岬にたつ白亜の灯台です。
明治43年に初点灯し、昭和16年、現在のコンクリート造りとなりました。
当時、戦時下で工事が中断しかけたところ
地元青年団200人が勤労奉仕して完成させたというエピソードから、
地域の重要なインフラとして大切にされてきたことが分かります。

遊歩道が整備され早朝や夜もアクセスできること、
日豊海岸国定公園の絶景を楽しむこと、
南国の景色に映える白亜の塔体がフォトジェニックであること、
親しみやすい高さで、肉眼でもライトの動きや光を確認できることなど…
灯台の魅力に気軽にふれられます。

課題

専門ガイドの育成における課題

- ◆これまで灯台に特化した説明の機会が少ない
 - ・灯台への案内少なく灯台への説明内容も簡単な物であった。
 - ・灯台の構造、灯質などになり説明内容に工夫が必要である。
 - ・参加者へ灯台の魅力を伝える事が出来なかった。
- ◆ボランティアガイドの高齢化と後継者不足
 - ・ガイドの高齢化。ガイドさんにより説明方法等に差がある。



施策

ガイドマニュアル作成による説明内容の向上を図る

- ・説明内容にイラストを交えた内容
- ・細島灯台だけの説明ではなく灯台全体を組み入れた内容
- ・クイズなど取り込んだ内容
- ・参加者に見せるマニュアル作成

課題

灯台クルーズの持続周航
灯台の見せ方コースの検討

- ・定時運行への課題
- ・チャーター船での定員問題（知床事故以来旅客船安全運行強化）
- ・灯台と日豊国定公園海岸の見せ方
- ・冬季オフ時期の対策



施策

灯台クルーズの魅力情報発信

- ・ホームページやSNS等で、灯台クルーズ情報の常時発信
- ・ガイドマニュアルを共有
- ・海岸線の見せ方（運行順路）の研究
- ・イベントのとのコラボ（灯台グルメウォークや灯台ウィーク時）

課題

灯台ナイトハイク

- ・夜間歩行の安全性の確保
- ・夏場の虫対策
- ・夜間灯台敷地内への集客・呼びかけが難しい（海上保安部が難色）



施策

灯台の灯りは朝でも見える！
（夜明けの日の出プランへ移行）

- ・日の出までに灯台の灯りが楽しめる
- ・暗くなるより日の出を待つ時が気持ちが高揚する。
- ・復路は明るくなり歩行危険性が半減する

課題

常夜灯の現状

- ・常夜灯が存在しているが、現状は草木覆われており辿り着けない
- ・常夜灯の歴史を知る人が少ない。常夜灯自体を知る人が少ない。
- ・地元との協議、理解が必要



施策

常夜灯を利活用
（移設・保存・活用できないか？）

- ・現在の場所での利活用？
- ・細島灯台周辺への移転・保存し、その歴史や役割などを説明することで、互いに活かすことができないか。

専門ガイド育成

①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト）	③収益
ガイド講習会企画・準備費 20万円 ガイド講習会開催・運営費(3回) 18万円 ガイド講習会講師謝金・交通費他 7万円 ガイドマニュアル作成・印刷費 15万円 ミニガイドツアー企画・準備費 30万円 ミニガイドツアー実施費 20万円 ミニガイドツアーアンケート 作成・集計・分析に係る費用 10万円		
1,200,000 円	0 円	0 円

③収益－②運営費

0 円

【③-②の検証】

市内で活動中の日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」メンバーを、細島灯台を案内できる専門ガイドとして養成するため、講習会等を実施した。また、現在「平兵衛さんの会」が説明している内容等のヒアリングを実施し、その後、実地調査や文献調査などで明らかとなった史実、また日向市史談会などとのワークショップで持ち寄られた資料やエピソードなども盛り込み、専門性の高い説明資料として取りまとめ、さらに今後、専門ガイドが手持ちとして活用できるよう灯台ガイドマニュアルを作成した。今後は、日向市観光協会を通じて申込のあったガイド希望者などに、一定のガイド料を徴収することで自走が可能となる。

地元を学ぶ灯台塾

①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト）	③収益
研修会、意見交換会 企画・準備費 30万円 研修会、意見交換会 開催・運営費 21万円 講師謝金・交通費他 10万円 研修会5回実施		
610,000 円	0 円	0 円

③収益－②運営費	0 円
-----------------	------------

【③-②の検証】

大学講師や海上保安部などを講師を招いて、港の歴史や灯台の役割について学ぶ。
 今回制作した細島灯台ガイドマニュアルを活用し、灯台塾メンバーを対象に現地研修を実施したほか、海から灯台を眺める灯台クルーズでは、日豊海岸国定公園の特徴あるダイナミックな海岸線を体験。

今後は新たに入塾生を募集し、新たな講座開催なども必要と考えるが、すでに受講終了した1期生については引き続き、灯台利活用のアイデアやイベント企画などについて意見を交えるほか、灯台イベント時にはボランティアスタッフとして積極的に参加できるよう、引き続き塾生としての活動を支援していく。

灯台クルーズ

①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト）	③収益
灯台クルーズ企画・準備費 20万円 灯台クルーズ検討会開催・運営費 10万円 灯台クルーズ試験実施費 ※ 40万円 灯台クルーズ ガイド謝金・交通費 10万円 灯台クルーズ アンケート 作成・集計・分析に係る費用 10万円 ※計4回実施		
900,000 円	0 円	0 円

③収益－②運営費

0 円

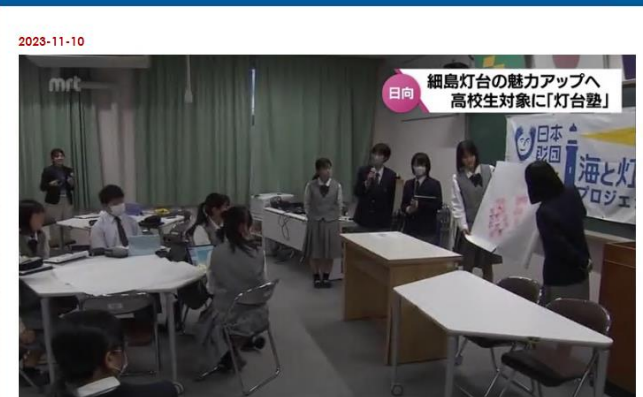
【③-②の検証】

検証事業では、遊覧船「飛島丸」をチャーターし、まずコンソーシアムメンバーが事前調査を実施。その後、専門ガイド講習会受講者や灯台塾参加の高校生を対象に体験乗船などを実施した。今後は、事前申込による不定期船となるが、個人・団体等の乗船客から遊覧料を徴収することで自走が可能となる。また、灯台クルーズの魅力を広く発信し、さらなる誘客につなげるために、日向市観光協会のホームページやSNSなど多様な媒体を活用し、情報発信していく。

さらに、ガイド育成事業で作成した細島灯台ガイドマニュアルにおいては、遊覧船「飛島丸」のクルーズガイドへも提供し、積極的に活用していく。



灯台の魅力アップとにぎわい創出へ 日向市の高校で「灯台塾」



宮崎県日向市では、細島灯台の魅力アップとにぎわい創出を目的に、高校生を対象にした「灯台塾」が開かれました。

灯台塾は、日本財団の「海と灯台プロジェクト」の一環で、日向市や市観光協会などでつくる団体が実施したものです。

7日は、宮崎海上保安部の職員が富島高校を訪れ、生徒たちに灯台の役割や歴史について紹介。このあと、生徒たちは、細島灯台を紹介するマニュアル作りに取り組みイラストやデザインについてアイデアを出し合いました。

灯台の魅力アップとにぎわい創出へ 日向市の高校で「灯台塾」



1日は灯台記念日 日向市の細島灯台を地元 園児たちが見学



11月1日は海上保安庁が定める「灯台記念日」です。これに合わせて日向市の灯台では地元の園児たちが、ふだん入ることのできない灯台の内部を見学しました。

日向市細島の日向岬にある「細島灯台」はコンクリート製の高さおよそ11メートルの灯台で昭和16年から80年以上、周囲の海の安全を守っています。

1日の「灯台記念日」に合わせて日向市の観光協会が5年ぶりに内部を一般公開し、地元の保育所に通う園児25人がふだん入らない灯台の内部を見学しました。

園児たちはまず灯台にまつわるクイズに挑戦し、灯台の明かりが3.5キロ余り先まで届くことなどを学んでいました。

1日は特別にふだんは夜間に点灯させるランプを日中から点灯させ、子どもたちは灯台の中で職員から説明を受けながら緑や白に光る明かりを見上げたり、海を見られる外の場所に出て見晴らしのよさを感じたりしていました。

このほか、灯台に親んでもらおうと工作なども行われ、子どもたちは思い思いに細島灯台を描いたり、ライトをつけた紙コップを灯台に見立てて色とりどりのセロハンなどで飾りつけたりしていました。

参加した園児は「灯台のなかにある一番上のライトが緑と白に光るところがすごかったです」と話していました。



のべ118媒体

調査検証をふまえた 今後の展開案

事業背景1

ポテンシャル

訪れると満足度の高い細島灯台からの絶景を目的に、みなとオアシスほそしまを起点に、灯台を目指す灯台ウォークを開催。細島を代表グルメ、細島いがわぎなどの振る舞いも。

「灯台日の出カフェ！」日向灘から上がる日の出と、それまで暗闇を明るく照らす灯台の灯りを両方楽しめる時間と絶景の眺めを堪能

灯台をもっと集える場所へ（灯台周辺の整備）灯台敷地内は国有地のため何かと利用制限があり、独自イベント開催に自由に実施できない現状がある。灯台の有効活用のため、隣接する高台に展望広場の設置。

事業背景2

私たちが取り組む理由とねらい



- ・市民や来訪者が灯台を身近に感じられる空間の創出。
- ・メディア露出による日向岬・細島灯台の認知拡大
- ・地元グルメの魅力発信と消費拡大
- ・健康増進と観光コンテンツとしてのウォーキングコースの定着化



- ・朝のコンテンツを定着させることにより宿泊につなげる（観光消費の拡大）
- ・灯台の灯りを知る。（本来の役割を知り、学ぶ）
- ・調査検証で反応が良かったコンテンツの有料販売を実証する（新たなコンテンツ造成）



- ・景観を維持しつつ灯台周辺の修景を行い、また来たくなる灯台公園へ
- ・市民と協働による灯台景観維持イベントで、灯台を身近に感じさせる
- ・荒廃する森林を整備することで、次世代につなげていく（SDGs）

事業概要

事業名 守り育て集おう！ みんなの細島灯台へ

- ・（仮称）灯台グルメウォーク
細島漁師まち～灯台を繋ぐ絶景ウォーク
- ・灯台日の出カフェ「おひさまカフェ」
（例）灯台ウィーク期間限定のカフェ営業で非日常の時間帯を演出した企画
- ・市民を巻き込んだ灯台周辺の景観維持活動



灯台までのウォーキング（イメージ）



日の出と灯りが消えた灯台



子ども達と灯台の森を除伐整備



灯台日の出カフェ（イメージ）

事業名：守り育て集おう！みんなの細島灯台へ



熱源となる人たち
(核となる主体者)

HOSOSHIMAまちづくり協議会

細島地区住民の声を代表し
新たな利活用アイデア提言
イベント開催時の地元協力の窓口

(一社) 日向市観光協会

協会スタッフ・会員内若手経営者グループ
事業企画・運営

参加申込・予約システムの構築
新たな利活用アイデア提言

日向市

観光交流課

事業統括
事務局との連絡・調整



協働する主体者

日向市歴史観光ボランティアガイド 「平兵衛さんの会」

ガイドマニュアルを活用し、
世代にあった案内で灯台の魅力をわかりやすく説明。
灯台の価値を高め知らしめる役割を果たす

日向市体験型観光コンテンツ 造成協議会

体験型観光コンテンツなどの情報発信

MRT宮崎放送

情報発信



協力者

地元高校（県立富島高等学校） 灯台塾生

さらなる研鑽と利活用アイデア提言
イベント開催時のボランティアスタッフ

しぶき通り商店街

みなとオアシスほそしまの飲食店など

灯台ウォークでのサブ会場となり
地元グルメの提供ほか

近畿日本ツーリスト 福岡支店

情報発信と送客支援

事業名：守り育て集おう！みんなの細島灯台へ（日向岬 灯台ウォーク）


①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト/年額）	③収益（年額）
<ul style="list-style-type: none"> ・細島灯台紹介WEBサイト制作 700,000円 ・細島灯台プロモーション動画制作300,000円 ・ウォーキングコース案内看板 400,000円 (スタート、ゴール、注意喚起) ・応急救護セット 30,000円 ・イベントスタッフ、ボランティア標示物 (ジャンパー、名札など) 200,000円 ・イベント事務局備品等 370,000円 ・灯台カフェ備品 (パラソル・テーブル・椅子) 500,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント保険料 10,000円 ・ 音響機器レンタル代金 10,000円 ・ 海鮮グルメ提供食材費 200,000円 ・ 参加者ゼッケン印刷費 40,000円 ・ チラシ印刷費 30,000円 ・ 広告費 100,000円 ・ ネット申込委託費 50,000円 ・ 雑費 10,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加費（海鮮グルメ提供・保険料含む） 一人@1,000円×400名=400,000円 ・ グッズ販売 @200円×50個=10,000円 ・ 出店料 @5,000円×10店=50,000円
2,500,000円	450,000円	460,000円

③収益－②運営費の見込み	10,000円
<p>【備考】 市民や日向を訪れる人たちに、もっと細島灯台を身近に感じてもらうきっかけに、「日向岬灯台ウォーク」（仮称）を開催 みなとオアシスほそしまを起点に、日向岬「細島灯台」までの、往復約10kmをウォーキング。 イベントでは、専門ガイドや地元高校生による灯台の歴史・役割などの説明あり、さらに灯台クイズや宝探しなど、 さまざまな企画で細島灯台一体の魅力を体感する。 さらに、ゴールのみなとオアシスほそしまでは、コンソーシアムの一員でもある細島まちづくり協議会のメンバーが腕を振るい、 自獲れの海鮮漁師飯などを提供することで、参加者の満足度がさらに高まる。</p> <p>そのほか「灯台の灯りと日の出カフェ」「灯台特別見学会」の定期開催、「灯台クルーズ」のSNS発信及びフォトコンテスト</p>	

事業名：仮称) 守り育て集おう！みんなの細島灯台へ（細島灯台周辺公園化・常夜灯移設事業）

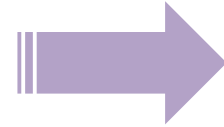
①初期投資（イニシャルコスト）	②運営費（ランニングコスト/年額）	③収益（年額）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との調整（事務局費） 500,000円 ・ 実施設計委託 2,000,000円 ・ 公園緑化工事費 18,000,000円 樹木伐倒、搬出、抜根 造成、整地、芝生張り作業 転落防止柵、休憩施設等設置 ・ 常夜灯移設工事費 2,000,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 景観を維持するSDGsイベント ・ 保険料 10,000円 ・ 資材費（軍手ほか） 25,000円 ・ 参加記念品 50,000円 ・ 樹木等処理費用 40,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 景観を維持するSDGsイベント ・ 参加費 @500円×50人 = 25,000円 ・ 補助金（宮崎県） 100,000円 <p>※参考 過去の参加者 R04 32名 R05 53名</p>
22,500,000円	125,000円	125,000円

③収益－②運営費の見込み	0円
<p>【備考】 灯台や常夜灯などの存在価値を高めるため、灯台の歴史や役割などを学習でき、さらに市民や来訪者の憩いの場として周辺を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 灯台周辺の樹木除伐や公園緑地化（バリアフリー対応） <ul style="list-style-type: none"> ・ 工作物の新築や増改築、広告物設置、土地の形状変更等の開発行為が規制 ・ 観光協会会員内若手経営者グループが、クラウドファンディングで、灯台ブランコなど設置の動きも <p>細島地区にある「常夜灯」の移設及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 常夜灯、旧灯台で使用されていた赤煉瓦、細島灯台と時代の遍歴を学べる、モニュメントも設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元との調整・協議中 <p>景観を維持するSDGsイベントの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然や灯台への愛着、次代へ引き継ぐ気持ちを育むイベント 	

- コンソーシアム組織の強化
 - 運営リーダーの育成
 - 持続可能な収益事業の構築
- 

AKARINOWA
【灯の輪】
プロジェクト

自治体主体



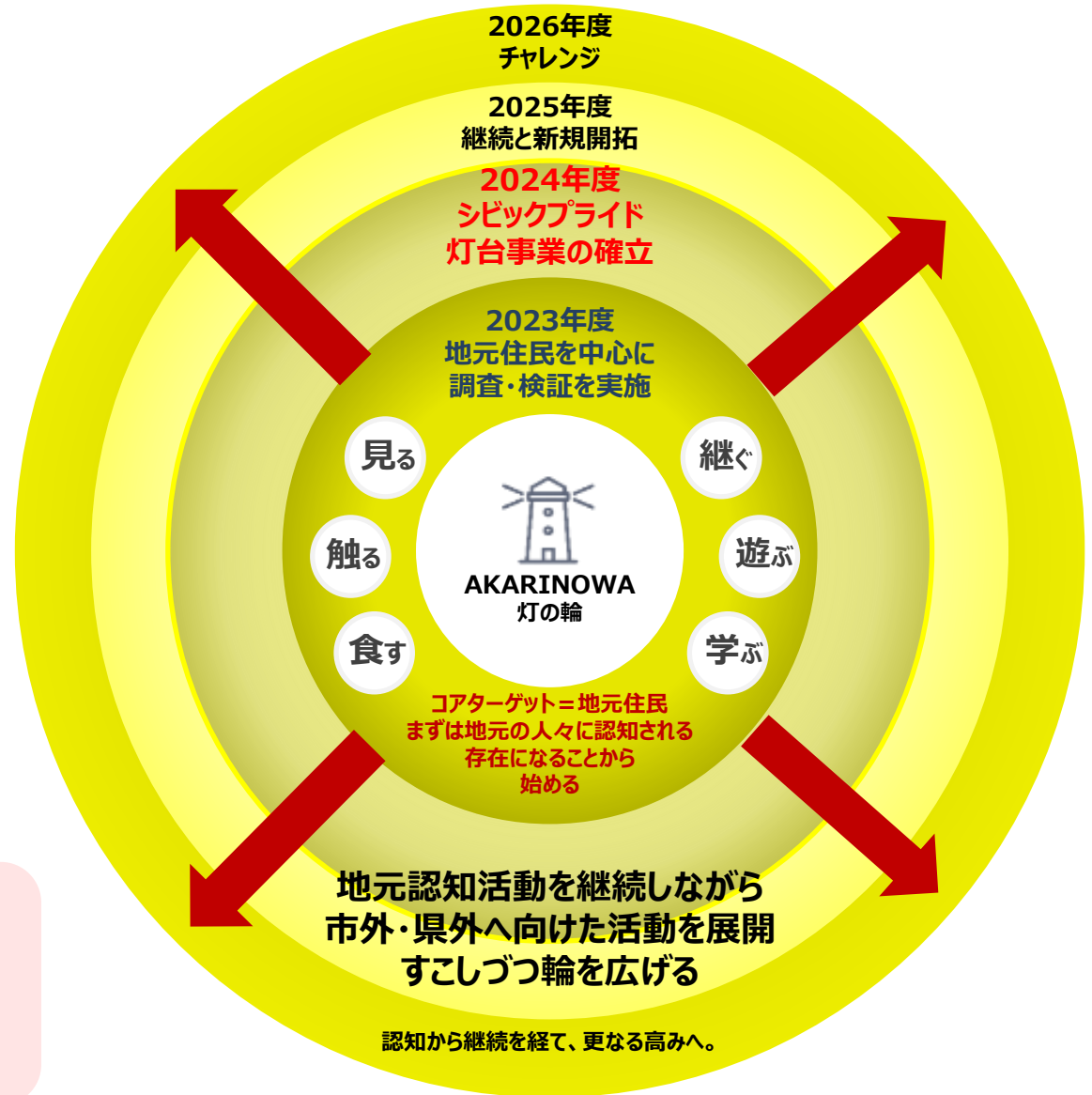
民間主導へ

細島灯台へのシビックプライド確立

細島灯台を基点に、日向市の
観光のシンボルとして確立



関係・交流人口の拡大で
地域経済の活性化を目指す



もっと灯台を身近に感じてもらうきっかけに

市民と灯台を繋ぐイベントの継続開催

細島灯台グルメウォーク（仮称）

- ✓ みなとオアシスほそしまから細島灯台までの、往復約10kmのウォーキング大会
- ✓ 灯台クイズや宝探し、自獲れの海鮮漁師飯などを味わう
- ✓ ボランティアガイドや地元高校生による灯台の歴史・役割などの説明も

そのほか 灯台の灯りと日の出カフェ 灯台特別見学会の定期開催
灯台クルーズのSNS発信コンテスト 観光協会HPで灯台特集など



灯台や常夜灯などの存在価値を高めるために

細島灯台周辺の公園化・修景維持

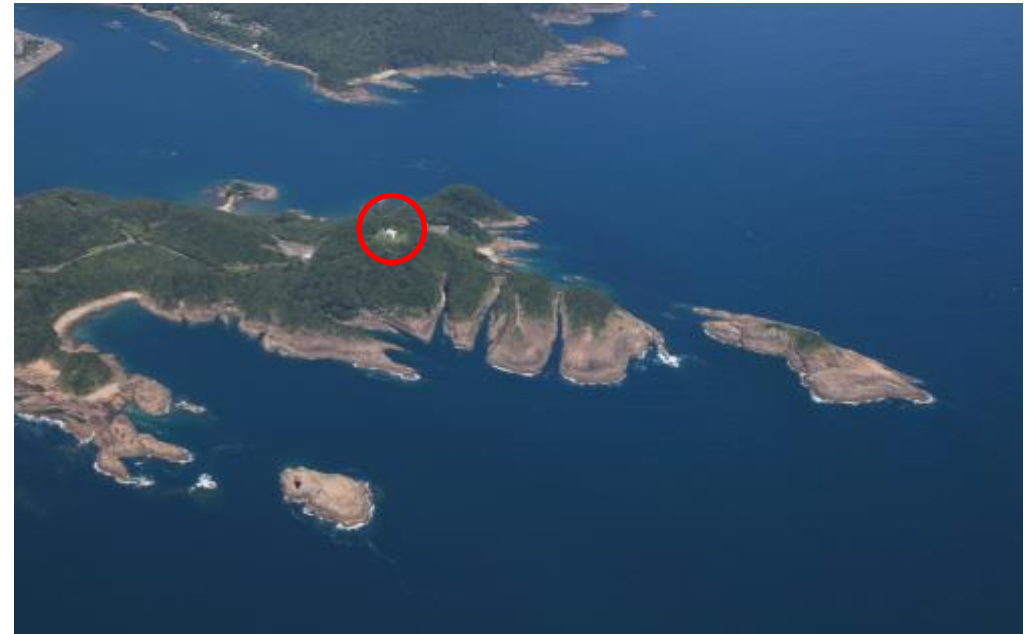
- ✓ 灯台周辺の樹木除伐や公園緑地化（バリアフリー対応）
 - 連携団体がクラウドファンディングで、灯台ブランコなど設置の動きも
 - 工作物の新築や増改築、広告物設置、土地の形状変更等の開発行為が規制
- ✓ 細島地区にある「常夜灯」の移設及び活用
 - 地元との調整・協議中 ○多額な移設費用が必要
- ✓ 地元の小・中学生と景観を維持するイベントの継続
 - 自然や灯台への愛着、次代へ引き継ぐ気持ちを育むイベントを



調査検証資料



日向岬



宮崎県 北部 日向市 日豊海岸国定公園※1 日向岬に位置する

※1 日豊海岸国定公園は、九州東部の大分県中部（佐賀関半島）から南は宮崎県北部（美々津海岸）にかけての海岸線に設置された国定公園。延長約120kmにおよぶ海岸部半島、湾入、島嶼断崖と続くリアス式海岸と多島海景



1910年（明治43年）
赤レンガで建設

1941年（昭和16年）
現在の形に建替

2017年（平成29年）
日本ロマンチスト協会より
「恋する灯台」に認定

細島港は古くから宋や明との貿易の寄港地として栄え、徳川時代には日南諸大名の参勤交代で細島・大阪間を御座船が要貴会、当時既に「常夜灯」が設置されていたと伝えられています。
明治時代末期、細島港の整備が進むと宮崎県が灯台を建設して明治43年5月10日に初点灯しました。

本内容出典元
「燈光会」より



所在地 宮崎県日向市（高遠見山）

北緯（精測値） 3 2 - 2 5 - 2 5

東経（精測値） 1 3 1 - 4 1 - 0 8

塗色及び構造 白色 塔形

塔の高さ

約11メートル（地上から）

約101メートル（平均水面から灯火まで）

灯質 単せん白緑互光

毎10秒に白 1 せん光と緑 1 せん光

光度 白光実効光度 7.6万カンデラ

緑光実効光度 8.3万カンデラ

光達距離 約19.5海里（約36Km）

点灯年月日 明治43年5月10日

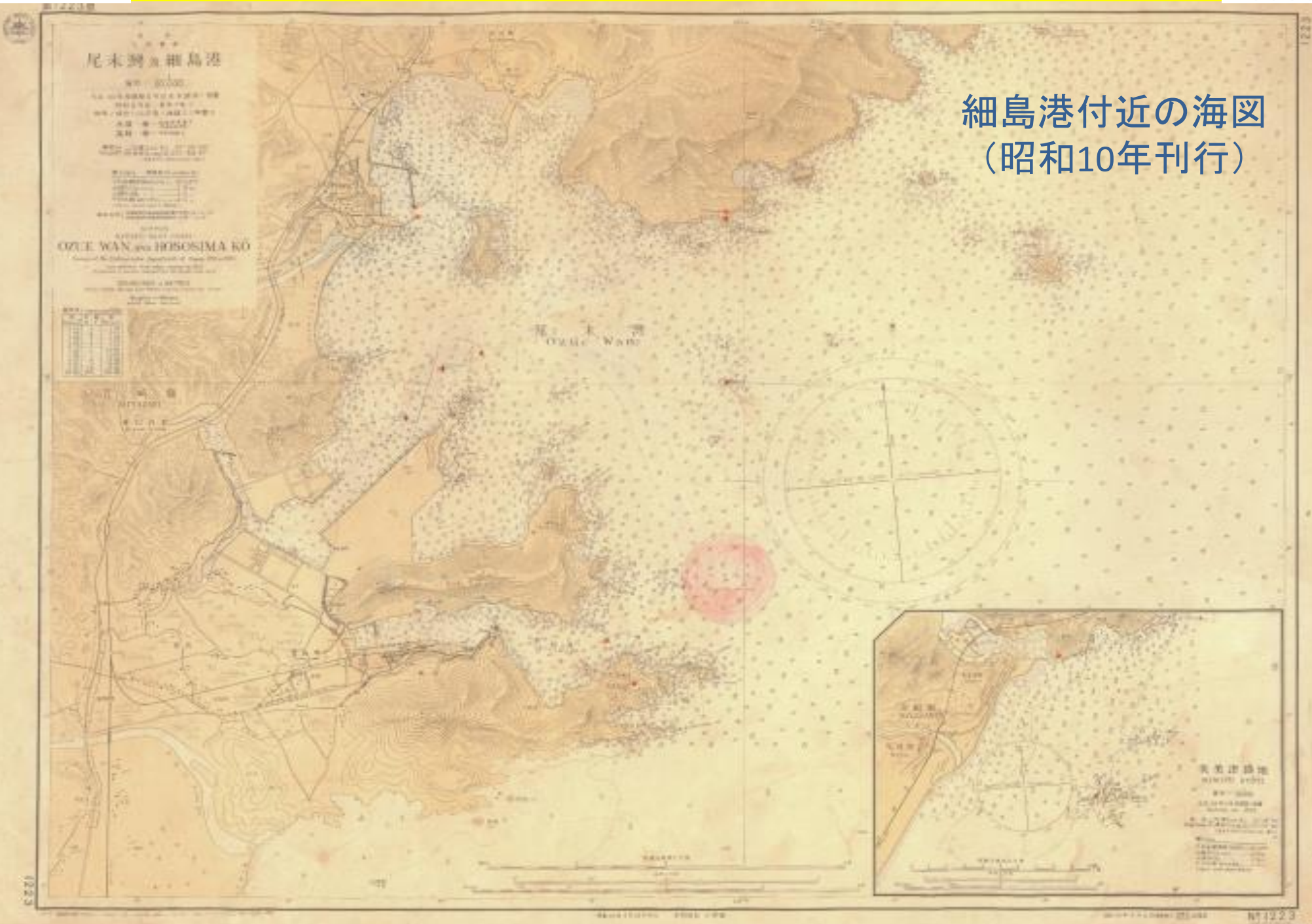
変更年月日 令和5年3月23日



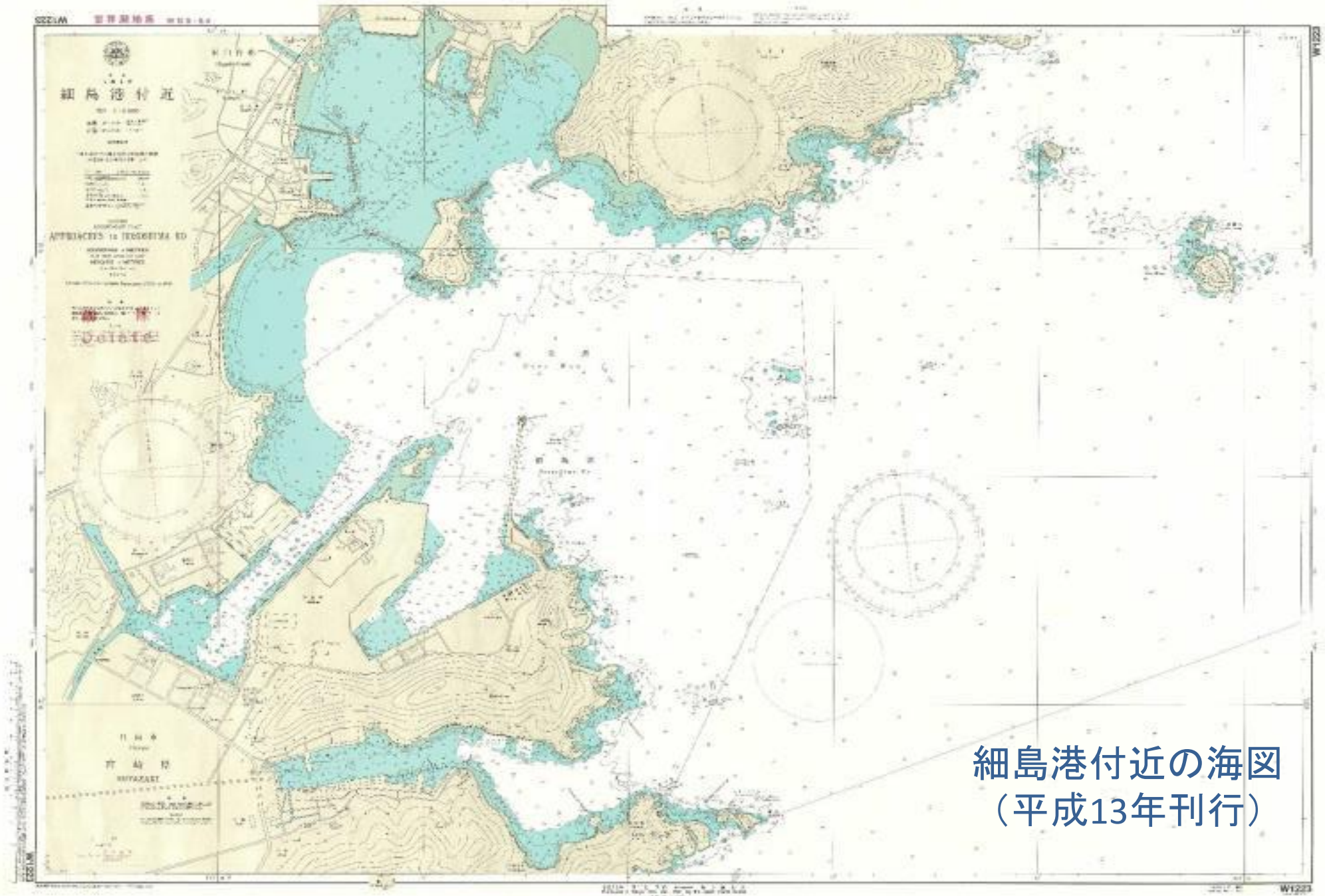
江戸時代、細島灯台の前身となる高さ約4 m・
周囲8 mの石造りの「常夜灯」が設置される。
現在も保存され、貴重な文化財となっている。



昭和16年コンクリート造りに改築された際、
戦時下で予算不足であったため、建設には
地元青年団が勤労奉仕で参加した。



細島港付近の海図
(昭和10年刊行)



細島港付近の海図
(平成13年刊行)

細島灯台にまつわる印象的なエピソード

～日向市観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」会長 松葉 藤吉 さん～

◎現在の細島小学校の近くに灯台の官舎があり、10名程は灯台守が在籍していたはず。昔は灯台までの道が整備されていなかったため、灯台守は片道2時間かけて灯台へ行っていた。

～宮崎大学地域資源情報活用センター 伝承特別調査員 緒方博文 さん～

◎細島灯台がたっている地形ができたのは、1600万年前。それまで海だった東九州の一部で海底火山の噴出が始まり、大きく3回分けて噴火した火砕流が飛んできて今の地形ができた。これがなければ、そもそも細島灯台のたつ台地がなかった。

◎昭和9年 船の運航許可申請と許可証が出ており、美々津の灯台を回り遊覧して細島灯台を下から見るツアーをやっていた。この頃にも、観光として船がでていたことが分かる。

～ひむか港づくり女性の会 会長 児玉 広美さん～

◎細島地区にある細島小学校の校長室には、史談会メンバーが制作した「細島灯台のジオラマ」が飾られている。

◎小さいころに灯台の絵を描く授業もあつたりして、細島灯台の存在は知っていたが、あまり足を運ぶ機会は無かった。



検証
事業

1

取組
1

目的：灯台の歴史・文化をより詳しく語るができる専門ガイドを育成することで、後世に継承していく土台を作る。

日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」へのガイド講習会・意見交換会

すでに日向市内でガイドとして活躍されている日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」の会員の方向けに細島灯台の歴史・文化等について学ぶガイド講習会・意見交換会を実施。小さい頃から市内に住んでいるガイドさんも多く、活発な意見交換がなされた。



検証
事業

1

取組
2

灯台ガイドマニュアルの制作

ボランティアガイド「平兵衛さんの会」が案内するコースの1つ「細島灯台コース」の造成に向け、細島灯台にフォーカスをあてた「細島灯台ガイドマニュアル」を制作。ガイドの皆さんとさまざまな意見を交わしながら、作り上げた。

※イラストの一部は
富島高校生が制作



検証
事業

1

取組
3

細島灯台ガイドツアーの実施

制作した「細島灯台ガイドマニュアル」を使った細島灯台ガイドツアーを実施。「平兵衛さんの会」による案内で細島灯台の歴史・文化を学びながら、細島灯台周辺を散策するツアー。細島灯台にまつわるクイズを交え、楽しく学べるツアーを目指した。

- 【実施日】 2023年12月20日（水）
第1部 13:15～14:15／第2部 14:45～15:45
- 【参加人数】 28名



検証
事業

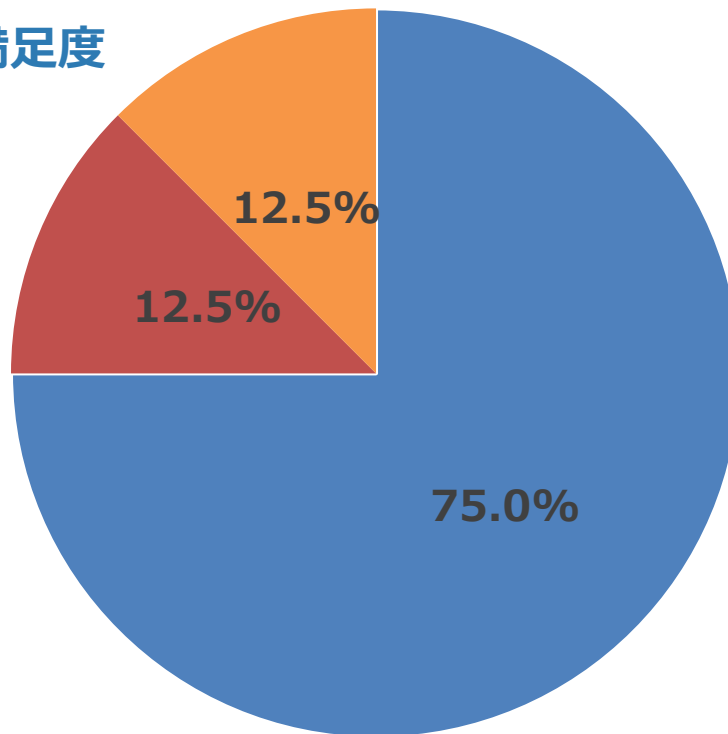
1

取組
3

ガイドツアーの参加者を対象にアンケート調査を実施。

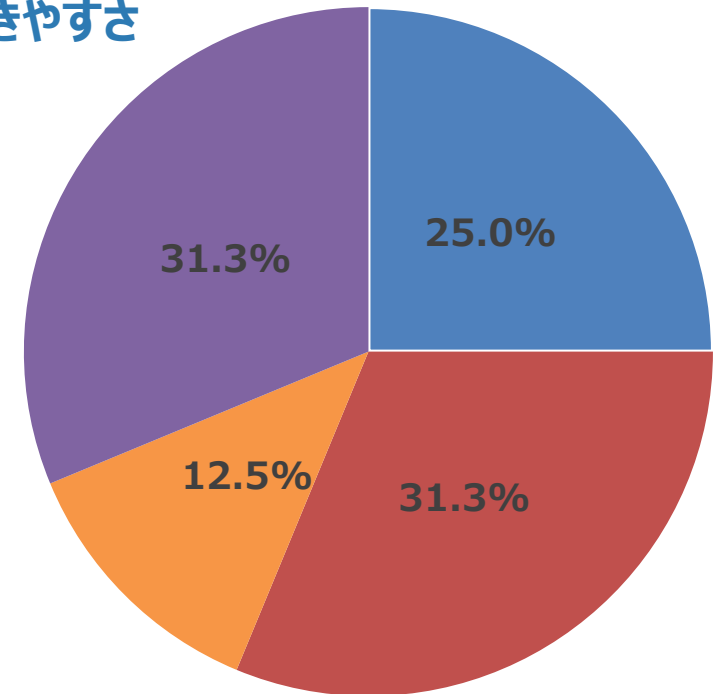
■回答者数 16人(参加者28人) ■男女比率 2:8 ■市内:市外 8:2

満足度



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

コースの歩きやすさ
(路面等)



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

大変満足・満足……“87.5%”と大変高い満足度であった。
一方で、コースの歩きやすさはやや不満が約30%と、環境面での整備が必要であることが分かった。

検証
事業

1

取組
3

良かった点

- ・**細島灯台に関するクイズ**で、細島灯台のことだけでなく、世界の灯台に関する知識も増えたので良かった。
- ・**資料や写真**を用意してなるべく分かりやすいように工夫していたこと
- ・参加者の状況を見て、進行してくれてよかった。

改善点

- ・コースの道が歩きにくい (**道の整備**)
- ・**見せ場**(写真のスポット等)の案内があれば良い。
- ・ガイドさんの説明の中で一部、情報があやふやなところがあった。

今回制作したガイドマニュアルや灯台クイズはガイドツアーを行う上で、効果的なツールであることが分かった。
ガイドの質の向上やツアーをさらに盛り上げる工夫が必要。

検証
事業 **2**

**取組
1**

地元高校向け灯台研修会

地元「富島高校」の学生を対象に、灯台の歴史・文化等を学ぶ研修会を実施。

【第1回】「細島の歴史を学ぶ」

講師：宮崎大学 地域資源活用センター 緒方特別調査員

【第2回】「灯台について学ぶ」

講師：宮崎海上保安部 田中次長 ・ 日高専門官



検証
事業 **2**

**取組
2**

細島灯台ガイドマニュアルのイラスト制作

検証事業 1 で制作した「細島灯台ガイドマニュアル」のイラストの一部を富島高校の学生が制作。細島灯台のイメージについて意見を交わしながら、イラスト作りに取り組み、若者の視点を取り入れた個性豊かなイラストが完成！

細島灯台のシルエットを中心に、朝から夜にかけて移り変わる灯台からの情景を背景の色で再現した。



検証
事業

2

取組 3

ボランティアガイド「平兵衛さんの会」との意見交換会

季節ごとの装飾で
インスタ映え
スポットに

灯台オリジナルフード&
ドリンク・グッズを
企画したい

灯台に
愛称を

灯台で
スタンプラリー
やってみたい

スロープや
足元灯が
ほしい

修了証書

様

あなたは日本財団「海と
灯台プロジェクト」の
細島灯台調査検証事業
令和5年度「灯台塾研修
会」を修了したことをここに
証明します

令和5年12月22日

細島灯台灯りの輪

会長 十屋 幸平



計5回の研修に
15名が参加。

検証
事業

3

取組
1

目的：本来の灯台の“顔”は海から見る灯台の姿。
日常で目にすることのない海からの灯台の姿ともに
その歴史的・地理的背景を知ってもらう

日の出クルーズ

日の出前に出港し、海上で朝日と灯台を眺める早朝クルーズを実施。
【実施日】 2023年11月8日（水） 6:00～

検証
事業 **3**

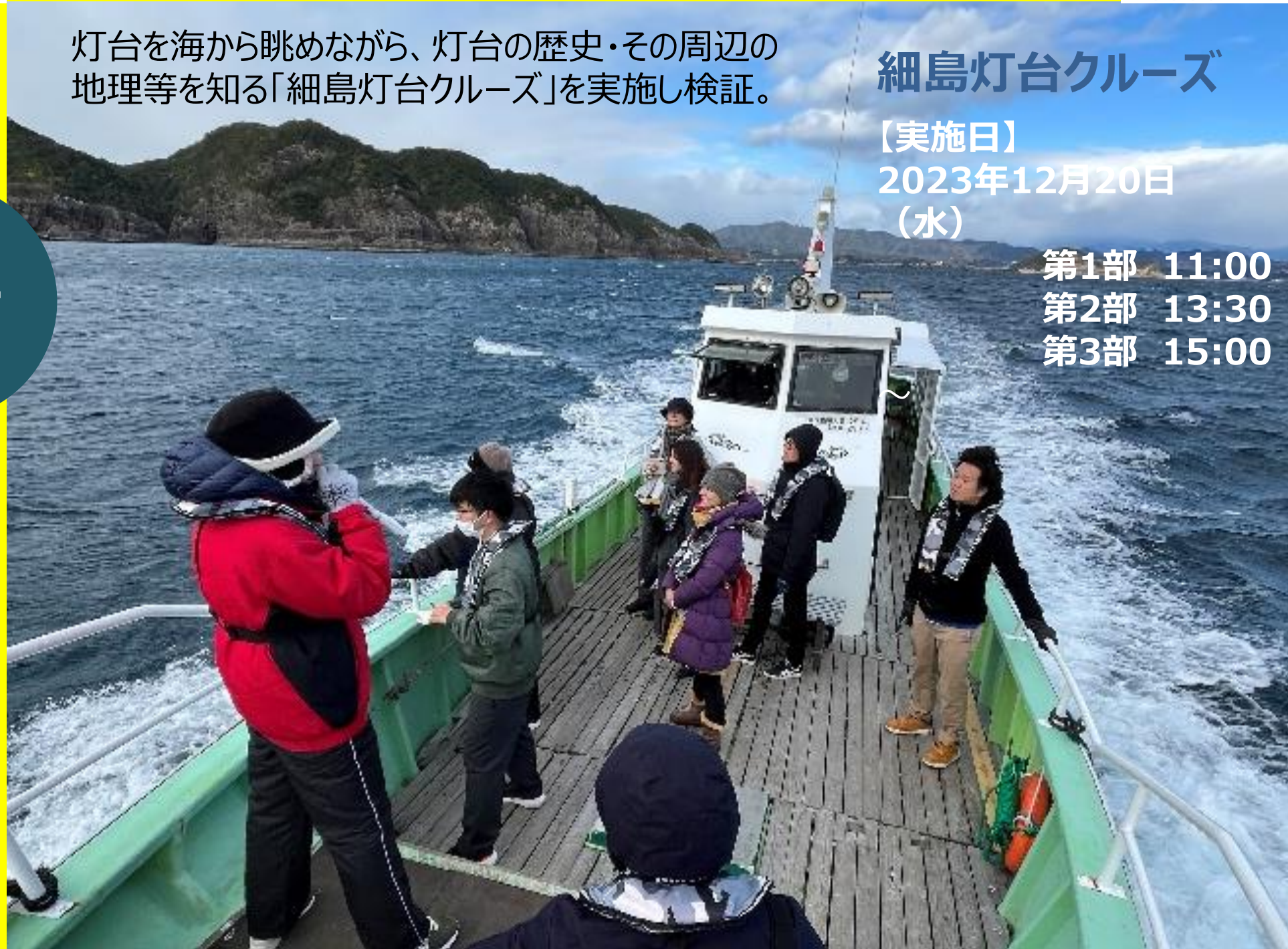
灯台を海から眺めながら、灯台の歴史・その周辺の地理等を知る「細島灯台クルーズ」を実施し検証。

細島灯台クルーズ

【実施日】
2023年12月20日
(水)

第1部 11:00
第2部 13:30
第3部 15:00

取組
2

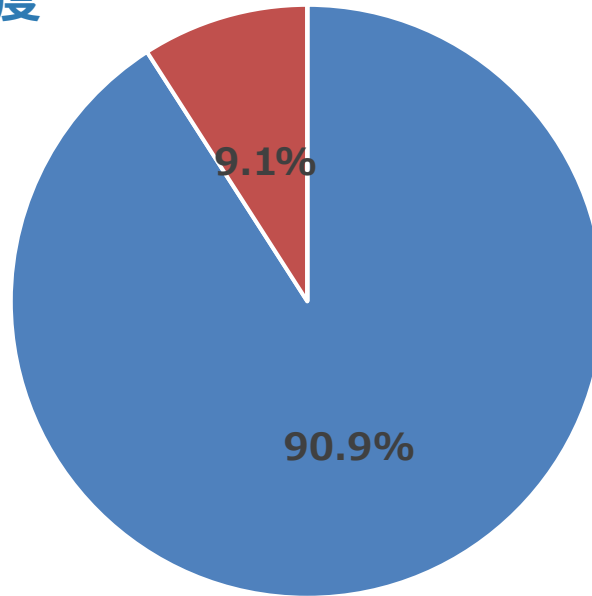


検証事業 **3**

灯台クルーズの参加者を対象にアンケート調査を実施。

■回答者数 22人(参加者28人) ■男女比率 2:8 ■市内:市外 8:2

満足度



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通
■ やや不満 ■ 不満

良かった点

- ・海からの灯台や**景観**は、すばらしかった。
- ・写真で見ると、実際に見るとは大きな違いがある。
- ・洞屈のことや神話のおはなしなどの、**細島の歴史**を知ることができた
- ・船に乗ること自体、あまりないことなので、見る物全てが新しく、発見が沢山ありました
- ・あらためて**灯台の重要性**や**観光資源としての価値**を見直した。

改善点

- ・風が強く、**説明の声が聞こえづらい**部分があった。
- ・**灯台についての説明がもう少しあると良い。**

大変満足・満足……“100%”と灯台クルーズが大変魅力的なコンテンツであることが分かった。

細島の歴史と関連づけて、灯台の説明も加えるなど、説明内容をより充実させることでよりよいコンテンツへ。乗船料収受で自走可能

取組 **2**

検証 事業 **4**



目的：普段はなかなか見ることのない灯台の“灯り”を見に行くプログラム。海を照らし、海の安全を守るという灯台本来の役割を再認識する機会を創出。

細島灯台のふもとにある「馬ヶ背茶屋」をスタートに、県内有数の景勝地「日向岬展望台」から海を照らす灯台の灯りを見た後、ゴールの「細島灯台」で、灯りを間近で見ることができるコースを設定。

【実施日】 2023年11月8日
(水) 18:00～1時間程度)

【人数】 16名

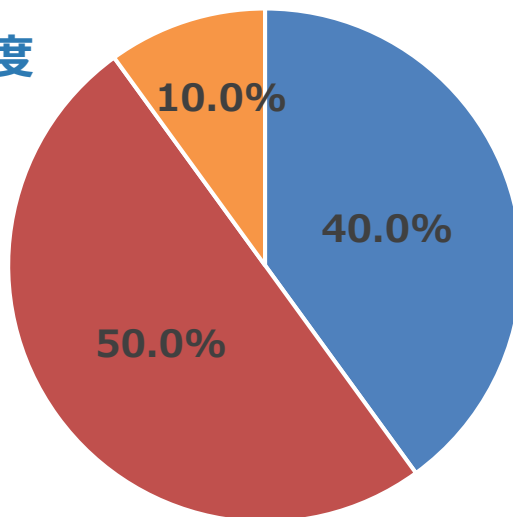


検証事業 **4**

灯台ナイトハイクの参加者を対象にアンケート調査を実施。

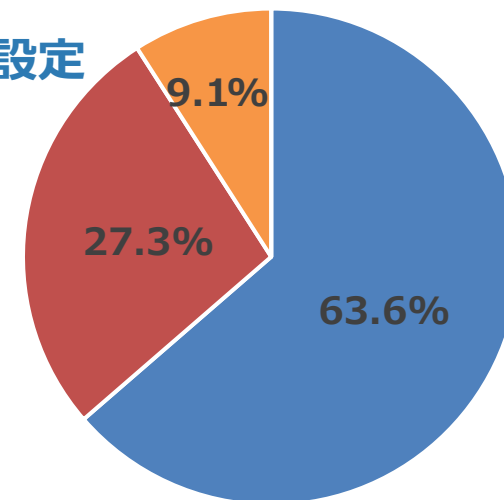
■ 回答者数 10人(参加者16人) ■ 男女比率 8:2 ■ 市内:市外 5:5

満足度



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満

価格設定



■ 500~1000円 ■ 1000~2000円
■ 2000~3000円 ■ 3000円以上(円程度)

大変満足・満足・・・9割と満足度の高い企画であった。
しかし、価格設定では500～1000円が最も多く、次年度以降
高付加価値化していく必要がある。

検証事業 **4**

灯台ナイトハイクの参加者を対象にアンケート調査を実施。

良かった点

- ・老若男女問わず、同じ趣向、興味を持った者通しが自然を通して、励まし合ったり、助け合ったり、知識を得たり有意義で**プチ旅行**のような気分が味わえる。
- ・ライトアップは夜ならではの工夫であり、**フォトジェニック**でした。
- ・普段見ることができない**灯台が働いている姿**（灯台のライト）は新鮮。

改善点

- ・ターゲットに応じて、道中、何か**アトラクション**があると良いのでは？（クイズなど）
- ・やはり道が暗いので、事故がないように**安全対策**が必要。

ライトアップや灯台のライト等、夜にしかない魅力があることが分かった。ガイドさんの説明や道中の催し等、参加者を楽しませる工夫や、安全対策などの環境整備が必要。

検証
事業

5

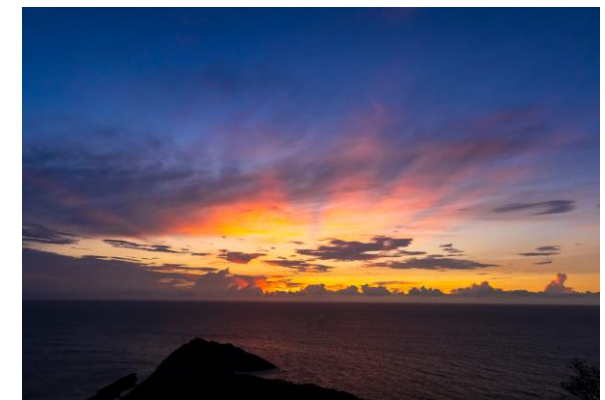
取組
1

目的：ここでしか見ることができない“細島灯台”×“日の出”の絶景をみんなで共有体験できるスポットに。

細島灯台にしかない魅力を発掘・発信し、みんなが集まる灯台に。

細島灯台×日の出の撮影会

「細島灯台」×「日の出」の魅力を検証する為、地元関係者およびプロカメラマンが早朝より細島灯台でスタンバイし、細島灯台からの日の出を撮影会を実施。



検証事業 **5**

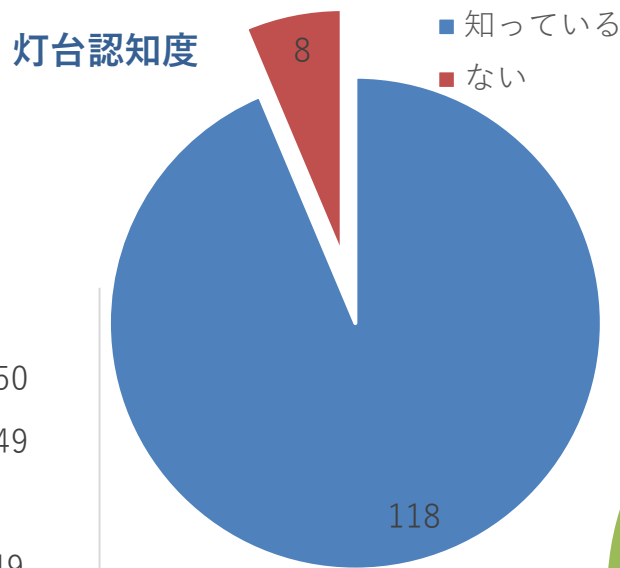
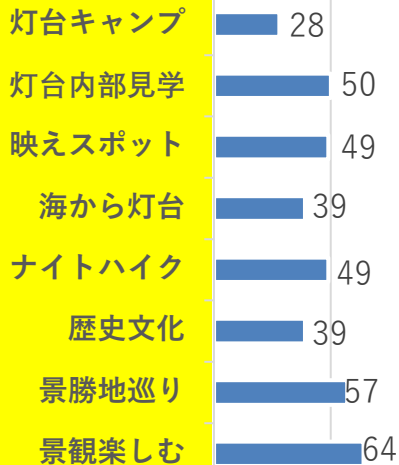
撮影した“細島灯台”×“日の出”の写真をもとに、地元住民を対象にアンケート調査を実施。地元住民にとって、灯台×日の出が魅力的なものであるか？

**結果：認知度はあるが灯台訪問数は少ない。
灯台の新しい魅力を情報発信することで誘客に期待できる！**

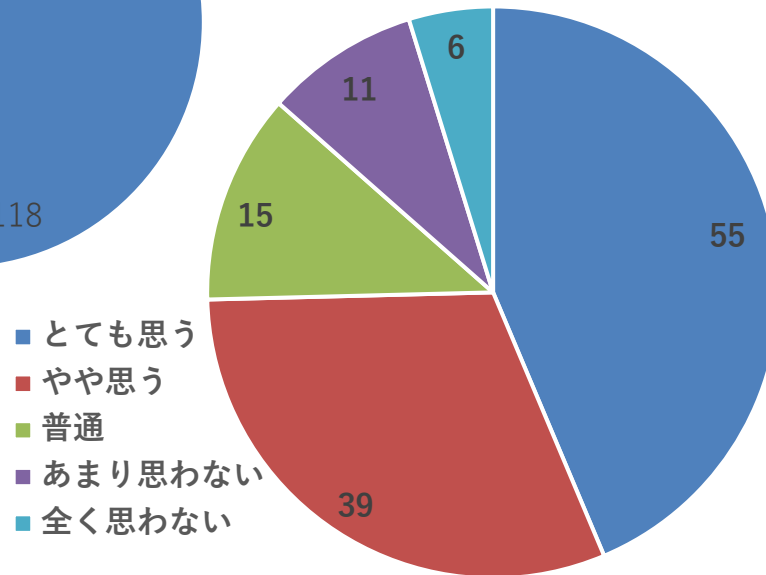
**取組
2**

■回答者数 125人 ■男女比率 6:4 ■市内：市外 7:3

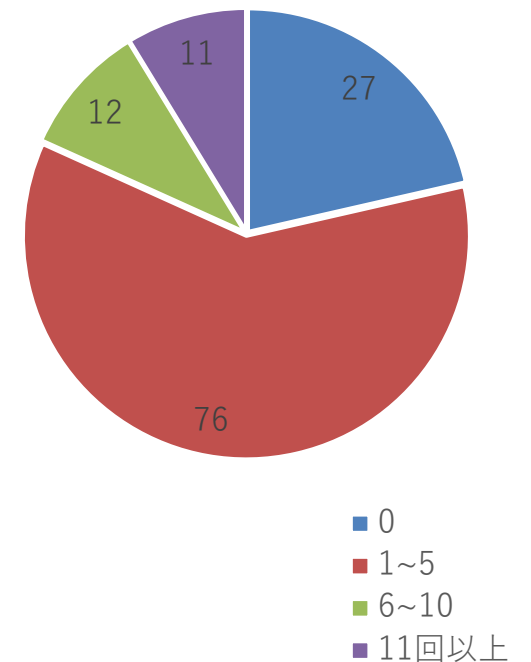
活用方法



灯台に日の出見に行きたいか？



訪問回数



事業後、明らかになったこと

- このままでは「港や灯台の歴史」を語り継ぐ人たちがいなくなる
 - ✓ **港や灯台の歴史や役割を、次世代を担う若者へと繋ぐ必要がある**
- 灯台周辺の整備・活用の必要
 - ✓ **周辺の景観を整備し維持することで、さらに灯台の魅力が高まる**
- もっと灯台を学び、身近に感じる機会があれば
 - ✓ **灯台を知る機会（継続したイベント開催等）が必要**
- 素晴らしい景観を活かし、新たな開発はできないのか
 - ✓ **国定公園の利活用と国有地使用の制限**
- 常夜灯って何だろう？
 - ✓ **常夜灯が残されているが、その存在を知る市民は少ない。**



文献調査・ヒアリング（有識者・地元住民）
による灯台歴史、知識収集を経て

灯台塾

実証

専門ガイド育成

ガイドマニュアルの質の向上

後継者育成に期待が高まる

灯台クルーズ、灯台ナイトハイク、灯台 with
日の出の検証を経て

灯台の灯り



日の出

朝のコンテンツの可能性

絶景カフェ？
絶景ヨガ



イメージ

灯台を起点とした地域の連携

灯台周辺景観の課題抽出がなされ、景観に対する意識が向上した

✓ 景観まちづくりの推進

灯台周辺の景観の魅力を楽しみ、貴重な資産を次世代に残せるように、まちの景観を維持・継承・改善の必要性を官民協同での取り組むきっかけとなった。

地域住民、行政などの灯台の利活用に対する関心が高まる

✓ 常夜灯などの存在価値の再認識

現所在地での活用？

灯台周辺への移転・活用？

「みなとオアシスほそしま」への移転・活用？





メディア露出

- ✓ 調査検証事業等へのフォーカス
 - 地元新聞社、地元テレビ局ローカルニュース
 - 年末TV特番など
- ✓ メディアの連鎖
 - 県外のメディアから、日向岬一带の

2023年紅白歌合戦では水森かおりさんが「日向岬」を熱唱しドミノ背景で「細島灯台」が映し出され

細島灯台の訪問者の増加

- ✓ 観光消費の拡大
 - 馬ヶ背茶屋の売上増加
 - 前年同時期比較、2割ほど上昇





謹賀新年

新春を迎え皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。 令和6年 元旦

細島灯台から望む朝日



リラックスタウン日向

RELAX TOWN HYUGA

〒883-8555 宮崎県日向市本町10番5号

日向市長 十屋 幸平